



Parallels Remote Application Server

アップグレード ガイド

Parallels International GmbH

Vordergasse 59

8200 Schaffhausen

スイス

Tel: + 41 52 672 20 30

www.parallels.com/jp

© 2025 Parallels International GmbH. All rights reserved. Parallels および Parallels ロゴは、カナダ、米国およびその他の国における、Parallels International GmbH の商標または登録商標です。

Apple、Safari、iPad、iPhone、Mac、macOS、iPadOS は、Apple Inc.の登録商標です。Google、Chrome、Chrome OS、Chromebook は、Google LLC の登録商標です。

その他のすべての社名、製品名、サービス名、ロゴ、ブランドの登録商標または未登録商標は、識別の目的でのみ使用されているものであり、それぞれの所有者の独占的財産です。サードパーティに関わるブランド、名称、ロゴ、その他の情報、画像、資料の使用は、それらの推奨を意味するものではありません。当社は、これらサードパーティに関わる情報、画像、素材、マーク、および他社の名称について所有権も否認します。特許に関するすべての通知と情報については、<https://www.parallels.com/jp/about/legal/>をご覧ください。

目次

はじめに	5
注意事項	5
適用範囲	5
表記規則	5
概要	6
前提条件	6
更新保証	6
バージョン 19.x から 21.x へのアップグレード (VDI/RDSH/AVD ホスト プールとテンプレート使用時) ..	7
アップグレード パス	7
注意事項	8
新バージョンの仕様	8
サーバーとクライアントのバージョン	8
アップグレード作業時間	8
インプレース アップグレード対象外のコンポーネント	9
バージョン アップグレードの流れ	10
事前準備	11
ライセンス情報の確認	11
RAS 構成情報のバックアップ	12
アップグレード	13
Connection Broker のアップグレード	13
プライマリ Connection Broker	13
セカンダリ Connection Broker	1645
RAS Agent のアップグレード	16

一括アップグレード	16
個別アップグレード	17
セカンダリ サイトのアップグレード	<u>2322</u>
最終チェック	<u>2322</u>

はじめに

本ガイドは、Parallels® Remote Application Server (以降 RAS) の評価を目的に、初めて環境を構築されようとしているお客様や、販売店のエンジニア様に、シンプルなシステム構成で構築を完了し、RAS のリモート アクセスをお試しいただき体験いただくことを目的としております。

RAS 管理者ガイド (日本語) を、弊社 Web サイトに公開しておりますが、公開資料を補足する内容となっております。ぜひ、RAS 製品のシンプルで、かつ操作性の良いリモート アクセスを評価いただければ幸いです。

RAS 管理者ガイドを含むマニュアルの公開ページ

<https://www.parallels.com/jp/products/ras/resources/>

注意事項

- 本ガイドで紹介した仮想ネットワークおよび仮想サーバー等の導入に関しては自己責任での利用をお願いいたします。
- 本ガイドで示す環境構築および運用手順の実行に関しては、所属する組織等のセキュリティ ポリシーに必ず従ってください。
- 本ガイドに記載されている画面例、URL 等はガイド記載時のものとなるため、画面仕様が実際の画面とは異なることがありますのでご注意ください。
- 本ガイドに記載されている内容は、改善のため予告なしに変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 評価の際は、是非、インストール メディアのバージョンを含め、本ガイドの最新バージョンをご使用されることを推奨いたします。

適用範囲

本ガイドは、以下バージョンを対象としています。

- RAS Ver. 21

表記規則

本ガイド内の表記は、以下の規則に沿って行われています。

- UI 上に表示されるメニュー名/タブ名/プロパティ項目名/値/ボタン名は、[] で囲んで表記しています。
- 可変の値は < > で囲んで表記しています。

概要

本ガイドでは、既存の RAS を新しいバージョンにアップグレードする手順について説明します。

本ガイド内のアップグレードは、「インプレース アップグレード」を指します。同じマシンの使用を継続しながら、現行のバージョンの上に新しいバージョンをインストールします。アップグレード後は、元の設定やデータを保ちながら、新しいバージョンの新機能をご利用いただけます。

以下、RAS v 21 を「新バージョン」と称します。

この章の内容

前提条件.....	6
注意事項.....	8
バージョン アップグレードの流れ.....	10

前提条件

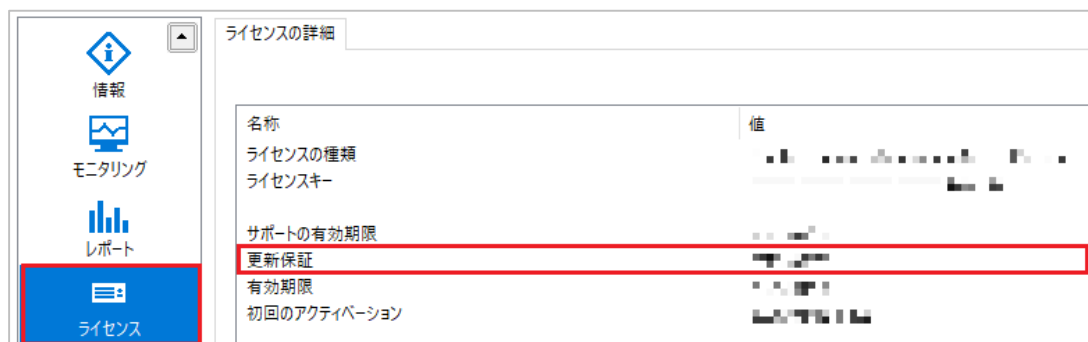
以下の条件をすべて満たしている事を予めご確認ください。

更新保証

アップグレードを利用するには、更新保証 (upgrade insurance) が必要です。現在ご使用の RAS ライセンスに有効な更新保証が付帯されていることを確認してください。

補足：サブスクリプション ライセンスをご利用の場合、更新保証の有効期限はライセンス有効期限と一致します。

更新保証の契約状況は、RAS Console の [ライセンス]>[ライセンスの詳細] タブの [更新保証] をご確認ください。



バージョン 19.x から 21.x へのアップグレード (VDI/RDSH/AVD ホスト プールとテンプレート使用時)

シナリオ 1：単一の Connection Broker

環境に Connection Broker が 1 つしか含まれていない場合は、バージョン **2021.x** に直接アップグレードしてください。

シナリオ 2：複数の Connection Broker

環境に 2 つ以上の Connection Broker が含まれており、RDSH、VDI、または AVD ホスト プールとテンプレートを使用している場合は、データ損失を防ぐために以下の手順が不可欠です。

- 1 すべてのセカンダリ Connection Broker で、以下のサービスを停止します。
 - 冗長サービス
 - Connection Broker (CB) サービス
 - プロバイダー エージェント サービス
- 2 プライマリ Connection Broker を新バージョンにアップグレードします。
- 3 各セカンダリ Connection Broker を新バージョンにアップグレードします。
- 4 各 Connection Broker で以前に停止したすべてのサービスを再起動します。
- 5 すべてのブローカーにわたってサービスが正しく実行されていることを確認します。

アップグレード パス

v 16.2 以前から v 21 への直接アップグレードはサポートされていません。その場合は、以下の 4 段階に分けてのアップグレードを推奨します。

- フェーズ 1：v 16.2 から v 17 へのアップグレード
- フェーズ 2：v 17 から v 19 へのアップグレード
- フェーズ 3：v 19 から v 20 へのアップグレード
- フェーズ 4：v 20 から v 21 へのアップグレード

注意事項

新バージョンの仕様

RAS を新バージョンにアップグレードする前に、ライセンスの要件のリストを確認することを推奨します。

- Microsoft ライセンス要件 (<https://docs.parallels.com/parallels-ras-administrators-guide-21/parallels-ras-21-administrators-guide/appendix/microsoft-license-requirements-in-parallels-ras>)

新バージョンの変更点と追加された機能の詳細は、リリース ノートをご確認ください。

- RAS v 21 リリース ノート (<https://kb.parallels.com/en/131037>)

現在の環境ですべてのコンポーネントがアップグレード可能であることを確認するために、ハードウェアとソフトウェアが、新バージョンを実行する上で認定された最低要件以上であることをご確認ください。システム要件を満たさないシステムにコンポーネントをインストールした場合、そのコンポーネントの動作はサポートされないことに注意してください。

- Parallels RAS 管理者ガイド > 「[システム要件](#)」
- Parallels RAS 管理者ガイド > 「[サポート対象のプロバイダー](#)」

サーバーとクライアントのバージョン

RAS サーバーと Parallels Client は、同じバージョンで運用することを推奨します。

注：異なるバージョンでもご利用いただけますが、新バージョンの機能や動作が保証されないことをご留意ください。

アップグレード作業時間

すべてのアップグレード作業は、ユーザーのリモート セッションが存在しない (アクティブではない) 時間に実施することを推奨します。

Secure Gateway のアップグレード中は、すべてのリモート接続セッションが切断されます。

セッション ホスト エージェント (RD セッション ホスト、リモート PC、VDI 仮想マシン) がアップグレードされるまで、それらへの新しいセッションを確立することはできません。そのため、高可用性を必要とするセッション ホストは、複数台で構成し、プライマリ Connection Broker をアップグレードした後に、セカンダリ Connection Broker をアップグレードしてください。

インプレース アップグレード対象外のコンポーネント

以下のコンポーネントは、インプレース アップグレードをサポートしていません。新バージョンでこれらのコンポーネントをご利用になる際は、運用中のコンポーネントと新バージョンのコンポーネントを交換する必要があります。

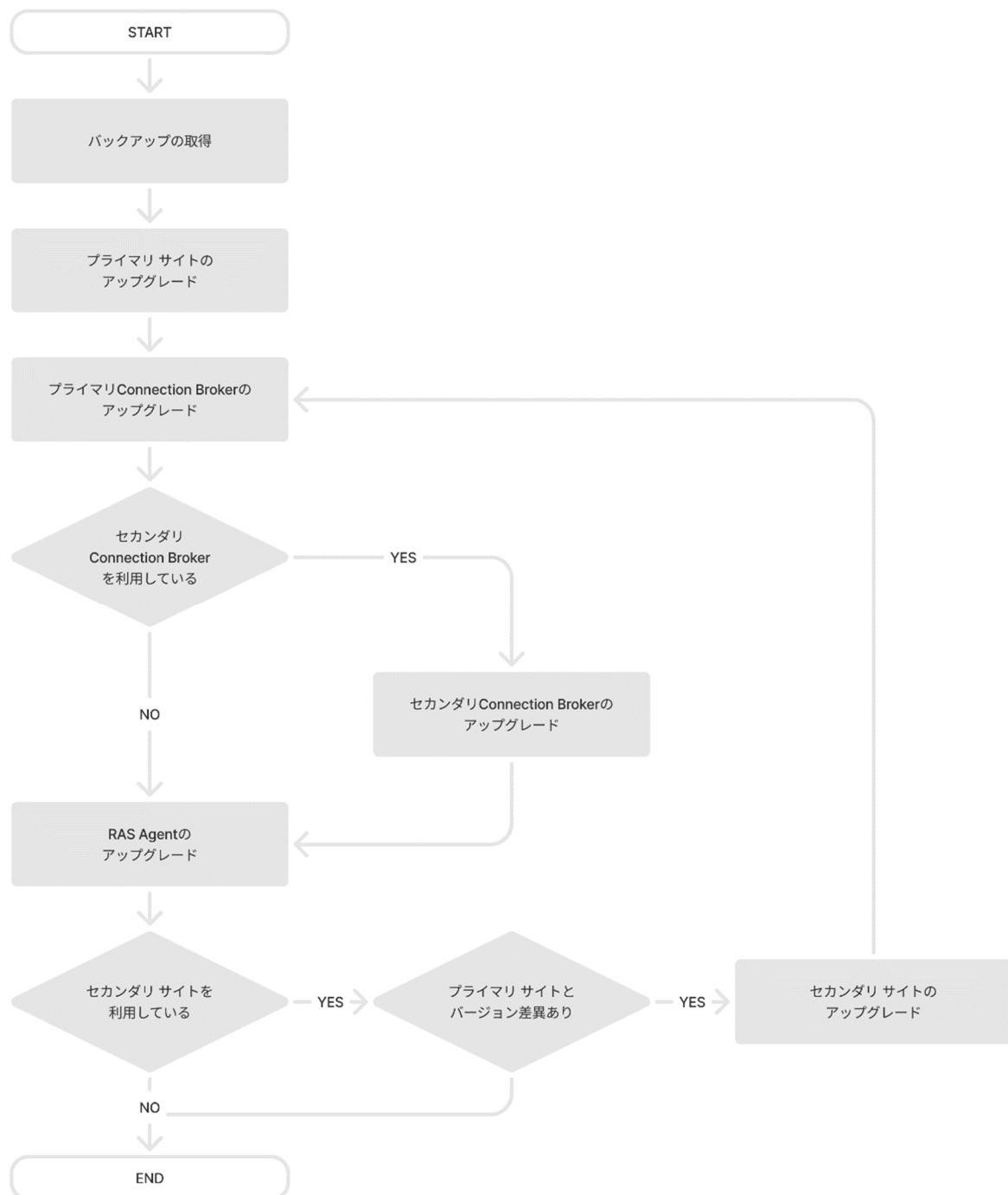
新バージョンの各コンポーネントは、下記の配布サイトから取得してください。

<https://www.parallels.com/products/ras/download/server/links/>

コンポーネント	説明
Reporting Service	新バージョンの Reporting Service インストーラーをレポート サーバーにて実行してください。
HALB Appliances	新バージョンの HALB Appliances をハイパーバイザーにインポートしてください。 詳細な手順は以下のナレッジをご確認ください。 https://kb.parallels.com/en/125167

バージョン アップグレードの流れ

バージョン アップグレードの主な流れは以下の通りです。



事前準備

アップグレード前に、重要なデータを損失しないようバックアップを作成することを推奨します。

この章の内容

ライセンス情報の確認	11
RAS 構成情報のバックアップ	12

ライセンス情報の確認

ご利用中のアクティブ化されたライセンス キーをコピーして保存します。

ライセンス キーの確認手順は以下の通りです。

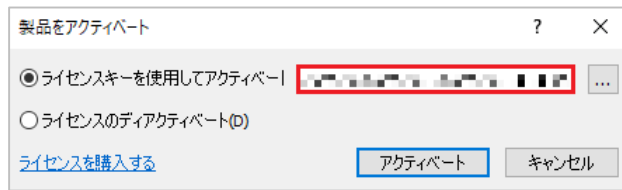
- 1 RAS Console の [ライセンス] > [ライセンスの管理] の順にクリックします。



- 2 Parallels ビジネス アカウント情報を入力し、[サインイン] をクリックします。



- 3 現在ご利用のライセンス キーが表示されますので、コピーして保存します。



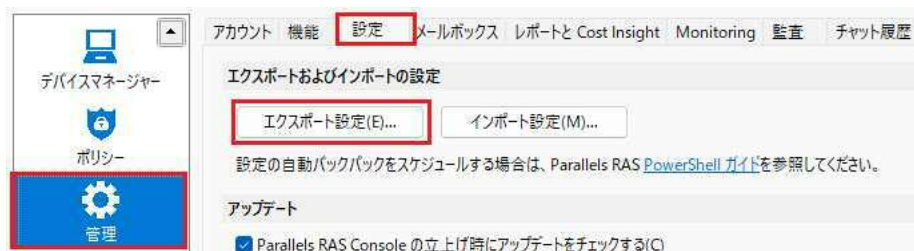
RAS 構成情報のバックアップ

RAS の構成ファイル (システム定義情報) を手動でエクスポートし、デバイスにアクセスできない場合でも取得できる場所に保存します。

補足：自動バックアップを構成する場合は、こちらのナレッジ (<https://kb.parallels.com/en/123806>) をご確認ください。

RAS の構成をバックアップする手順は、以下の通りです。

- 1 RAS Console を起動します。
- 2 [管理] > [設定] タブの順に遷移し、[エクスポート設定]をクリックします。



- 3 バックアップ ファイル (.dat2) の保存場所を指定します。

補足：バックアップから設定を復元するには、同じ構成ページの [インポート設定] から.dat2 ファイルをインポートしてください。バックアップ ファイル (.dat2) から構成をインポートすると、既存のファーム構成はインポートされた構成に完全に置換されます。

アップグレード

この章では、既存の RAS を新バージョンにアップグレードする手順について説明します。

この章の内容

Connection Broker のアップグレード	13
RAS Agent のアップグレード	16
セカンダリ サイトのアップグレード	2322
最終チェック	2322

Connection Broker のアップグレード

注：冗長性を確保するためにセカンダリ Connection Broker をご利用の場合、プライマリ Connection Broker の後にセカンダリ Connection Broker をアップグレードしてください。

プライマリ Connection Broker

RAS Console からアップデートの有無を確認します。アップデートがあれば、新バージョンの RAS インストーラーを実行して、コンポーネントをアップグレードします。

コンポーネントのアップグレード手順は、以下の通りです。

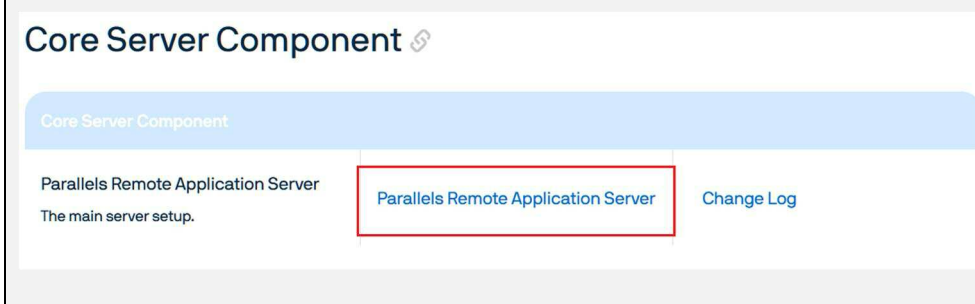
- 1 プライマリ Connection Broker の RAS Console を起動します。
- 2 [管理] > [設定] タブの順に遷移し、[すぐにチェック] をクリックします。



- 3 アップデートがある場合、アップデートを促すウィンドウが表示されます。[アップデート] をクリックすると、インストール用のアップデート プログラムのダウンロードが開始されます。



補足：上記の自動ダウンロードをご利用いただけない場合は、インターネットに接続したマシンにて、Parallels コンポーネント ダウンロード サイト (<http://www.parallels.com/products/ras/download/links/>) からインストーラー (RASInstaller.msi) をダウンロードし、RAS Connection Broker サーバー上で実行してください。



- 4 ダウンロード完了後、「RAS セットアップ ウィザード」が起動します。[次へ] をクリックします。



- 5 ライセンス条件に記載されている内容を確認後、[使用許諾契約書に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。



- 6 [次へ] をクリックします。



- 7 [インストール] をクリックします。



- 8 インストールの完了後、プライマリ Connection Broker のサーバーを再起動します。

セカンダリ Connection Broker

セカンダリ Connection Broker をアップグレードするには、以下の手順を実行します。本手順は、プライマリ Connection Broker のアップグレード後に実行してください。

- 1 プライマリ Connection Broker の RAS Console にログインします。
- 2 [ファーム] > [Connection Broker] の順に遷移し、[<セカンダリ Connection Broker >] を右クリックして、[トラブルシューティング] > [エージェントの確認] > [更新] の順に選択します。



- 3 セカンダリ Connection Broker のアップグレード後、セカンダリ Connection Broker のサーバーを再起動します。

RAS Agent のアップグレード

Connection Broker のアップグレード後、RAS Agent をアップグレードします。

一括アップグレード

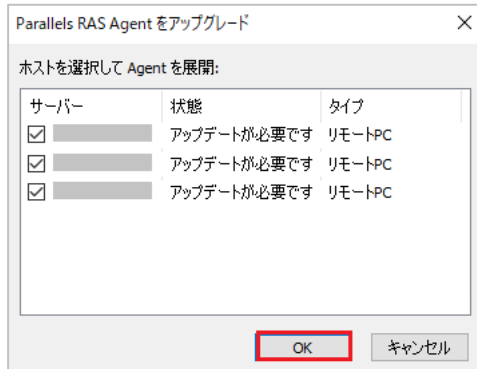
RAS Console の起動時に、インストール済みのすべての RAS Agent がチェックされます。アップデートが必要な Agent が存在する場合はアップデートを促すダイアログが表示されます。

一括アップグレードの手順は以下の通りです。

- 1 RAS Console の起動時に表示される Agent アップデートを促すダイアログにて、[はい] をクリックすると、Agent をアップデートする必要があるすべてのサーバーとテンプレートの一覧が表示されます。



- 2 アップデートするサーバーとテンプレートを選択し、[OK] をクリックします。



個別アップグレード

サーバーやテンプレートを個別でアップグレードする手順は以下の通りです。

Secure Gateway

Secure Gateway のアップグレード手順は以下の通りです。

- 1 [ファーム] > [Secure Gateway] > [Secure Gateway] タブの順に遷移します。
- 2 [タスク] > [すべての Agent をアップグレード] をクリックします。
- 3 Agent をアップデートする必要があるすべてのサーバーの一覧が表示されます。アップデートするサーバーを選択し、[OK] をクリックします。
- 4 Agent のインストールが実行されます。インストール完了後、[完了] をクリックします。
- 5 最後に、サーバーの [状態] が緑色 (検証済み)であることを確認します。

登録サーバー

登録サーバーのアップグレード手順は以下の通りです。

- 1 [ファーム] > [登録サーバー] > [登録サーバー] タブの順に遷移します。
- 2 [タスク] > [すべての Agent をアップグレード] をクリックします。
- 3 Agent をアップデートする必要があるすべてのサーバーの一覧が表示されます。アップデートするサーバーを選択し、[OK] をクリックします。
- 4 Agent のインストールが実行されます。インストール完了後、[完了] をクリックします。
- 5 最後に、サーバーの [状態] が緑色 (検証済み)であることを確認します。

テンプレート

RD セッションホスト、VDI、Azure Virtual Desktop (AVD) のテンプレートには、RAS Guest Agent の新バージョンがインストールされている必要があります。この手順では、テンプレートをメンテナンスモードにする必要があります。完了すると、テンプレートからマシンを複製するタイミングをゲストの再作成にスケジュールできます。

テンプレートの Agent をアップグレードする際には、このテンプレートから作成されたホストの Agent もアップグレードする必要があります。このアップグレードは、完全複製テンプレートとリンク複製テンプレートに対して別々に実行されます。

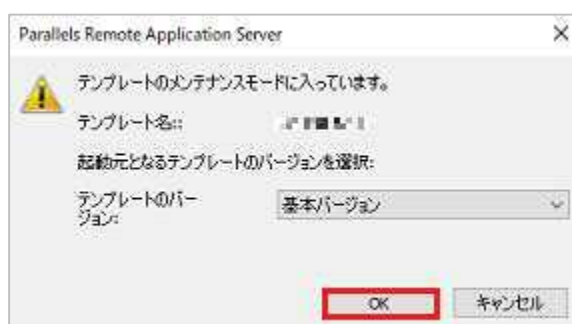
補足：RD セッション ホスト、VDI ホスト、AVD ホストでは、スケジュールを設定しての自動アップグレードをご利用いただけます。自動アップグレードを構成する場合は、「管理者ガイド」の「Agent のアップグレード」をご確認ください。

テンプレートおよびホストのアップグレード手順は以下の通りです。

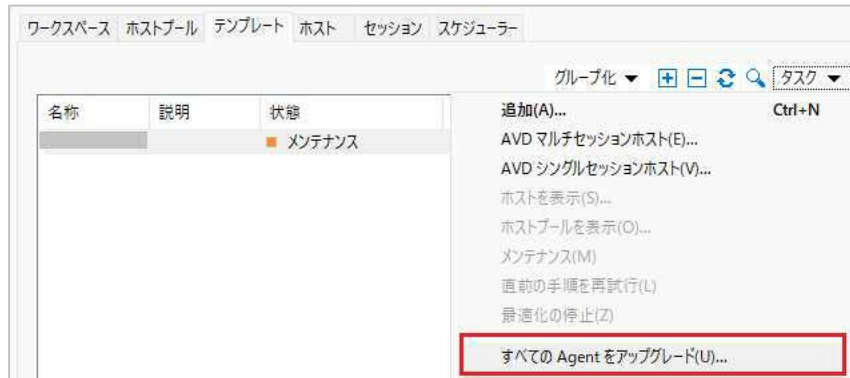
- 1 [ファーム] > [RD セッションホスト / VDI / Azure Virtual Desktop] > [テンプレート] の順に遷移します。
- 2 テンプレートを選択し、[タスク] > [メンテナンス] をクリックします。



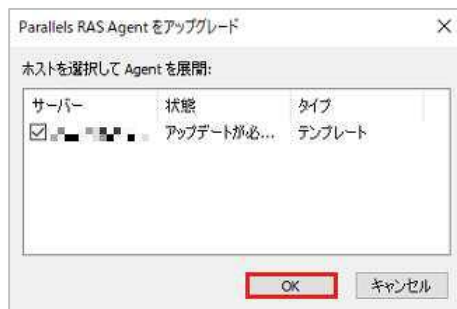
- 3 メンテナンスを開始するテンプレートのバージョンを選択し、[OK] をクリックします。



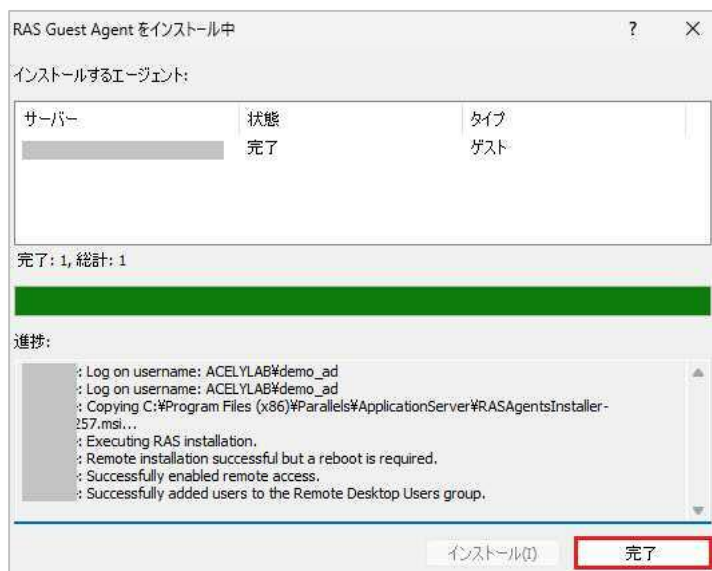
- 4 テンプレートのステータスが [メンテナンス] であることを確認後、[タスク] > [すべての Agent をアップグレード] をクリックします。



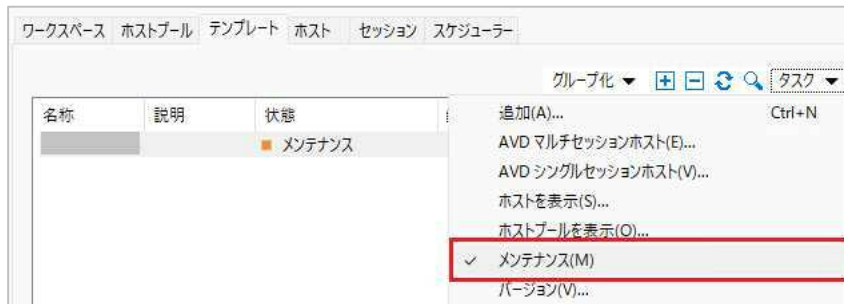
- 5 Agent をアップデートする必要があるすべてのテンプレートのリストが表示されます。アップデートするテンプレートを選択し、[OK] をクリックします。



- 6 RAS Guest Agent のインストールが実行されます。インストール完了後、[完了] をクリックします。



- 7 テンプレートを選択して [タスク] > [メンテナンス] を再度クリックし、メンテナンスモードを終了します。



- 8 [新しいバージョンを作成] を選択し、[次へ] をクリックします。

注：1 つのテンプレートに最大 5 つのバージョンを含めることができます。別のバージョンを作成したい場合は、すでに存在するバージョンを削除する必要があります。



- 9 [次へ] をクリックします。



- 10 新しいテンプレート バージョンの [名称] を入力し、[完了] をクリックします。

- 11 [はい] をクリックします。

- 12 リンク複製テンプレートの Agent をアップデートした場合、このテンプレートから作成されたすべてのホストを手動または、自動アップグレードを使用して再作成する必要があります。
- 13 完全複製テンプレートの Agent をアップデートした場合、自動的に完全複製ホストが再作成されることはありません。代わりに、手動または、自動アップグレードを使用して、これらのホスト VM の Agent を RAS Console からプッシュ インストールすることによってアップデートできます。
- 14 最後に、テンプレート及びホストの [状態] が緑色 (検証済み)であることを確認します。

44

リモート PC ホスト

リモート PC (スタンドアロン) のホストには、RAS PC Agent の新バージョンがインストールされている必要があります。

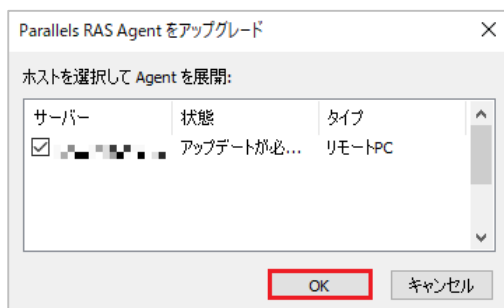
注：ホストプールの一部であるホスト (RD セッションホスト、VDI ホスト、AVD ホスト) のアップグレードは、「テンプレート」を参照してください。

リモート PC (スタンドアロン) のアップグレード手順は以下の通りです。

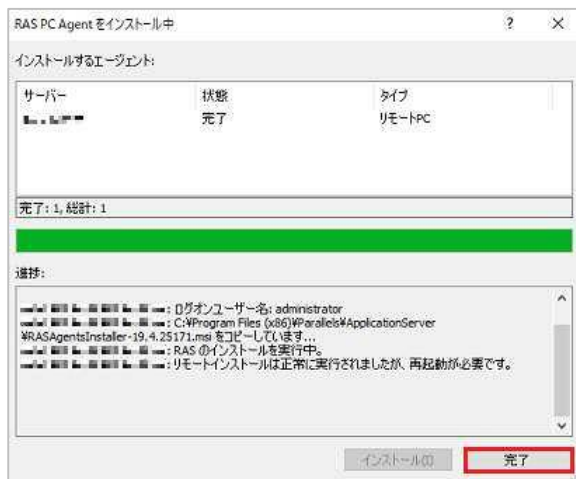
1. [ファーム] > [リモート PC] の順に遷移し、[タスク] > [すべての Agent をアップグレード] をクリックします。



2. Agent をアップデートする必要があるすべてのホストの一覧が表示されます。アップデートするホストを選択し、[OK] をクリックします。



3. RAS PC Agent のインストールが実行されます。インストール完了後、[完了] をクリックします。



4. 最後に、ホストの [状態] が緑色 (検証済み)であることを確認します。

セカンダリ サイトのアップグレード

複数のサイトを運用している場合、セカンダリ サイトをアップグレードするには、次の手順を実行します。本手順は、プライマリ サイトのアップグレード後に実行してください。

1. プライマリ サイトの RAS Console にログインします。
2. [ファーム]>[ファーム] の順に遷移し、[<セカンダリ サイト >] を右クリックして、[トラブルシューティング]>[エージェントの確認]>[更新] を選択します。
3. セカンダリ サイトのアップグレード後、セカンダリ サイトに切り替えます。
4. セカンダリ Connection Broker をアップグレード後、プライマリ サイト同様に残りのコンポーネントを更新します。

最終チェック

最後に、アップデートが正常に完了したことを確認する必要があります。

以下の項目を確認してください。

- RAS コンポーネントを含むすべてのサーバーが再起動されている。
- すべての RAS Agent の [状態] が緑色 (検証済み) である。
- [ヘルプ]>[バージョン情報] にて、バージョン情報が最新バージョンに更新されている。
- [ライセンス]>[ライセンスの詳細] にて、[同時使用ユーザー数の上限] が購入したユーザー ライセンス数と一致している。